

宇多津町議会議長 殿

# 教育委員会の事務の管理 及び 執行の状況の点検 及び 評価に関する報告書

( 平成29年度対象 )

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定  
に基づき報告書を提出いたします。

宇多津町教育委員会

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

## 目 次

1	自ら自分の未来を切り拓く教育の推進	
(1)	宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進	
①	学習習慣の確立と学ぶ意欲の向上	1
②	英語教育・外国語活動の充実	2
③	情報教育の推進	3
④	特別支援教育の推進	
	・ 特別支援教育	4
	・ 教育相談	5
	・ 私の成長シート	6
(2)	教職員の資質・能力の向上	
①	町連携協議会の充実	
②	ステージ別研修の充実	7
(3)	安心・安全な学校づくり	
①	実践的な防災教育の実施と防災力の向上	8
②	交通安全教育の充実	9
③	問題行動等の未然防止・指導体制の充実	10
④	学校情報・地域情報配信の充実	11
(4)	健康教育の推進	
①	安心・安全な学校給食の実施	12
②	家庭と連携した食育の推進並びに生活習慣病の予防促進	13
③	基本的な生活習慣を身につけるための啓発活動の促進	14
(5)	教育施設的环境整備	
①	学校諸施設の整備・充実	15
②	I C T化の推進	16
2.	地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり	
(1)	地域の教育力を活用した学習等支援＝地域力	
①	学習等支援体制づくり	17
②	体験活動・交流活動の充実	18
③	放課後児童の居場所の充実	19

(2)	他者への思いやりや自尊感情の育成	
①	地域活動への積極的な参加促進	20
②	異年齢交流活動事業の推進	21
(3)	家庭教育活動の推進並びに支援体制づくり	
①	家庭教育支援体制づくり並びに学習機会の拡充	22
②	家庭教育力の向上	23
(4)	人権尊重の知識を養う人権・同和教育の推進	
①	研修機会の充実	24
②	広報・啓発活動の充実	25
(5)	宇多津を誇りに思う心を育成する教育の推進	
①	地域の伝統文化を学習する機会の充実	
	・ 成人式	26
	・ 宇多津検定	27
(6)	その他	
①	子どもを守るネットワークの整備	
	・ いじめ防止等対策委員会	28
	・ サポートチーム連携協議会	29
	・ 宇多津町虐待防止対策ネットワーク協議会	30
	・ 少年育成センター業務	31

### 3 活力ある地域コミュニティの育成

(1)	文化・芸術活動並びに伝統文化伝承活動の推進	
①	研修活動等の充実並びに地域の伝統文化の保存・継承活動の支援	
	・ 平成相聞歌	32
	・ 文化財保護	33
(2)	地域住民ニーズに対応した生涯学習講座の充実	
①	いつでも・どこでも学ぶことができる学習機会の提供	
	・ 女性セミナー	34
	・ 宇多津大学	35
②	住民が学んだ成果を住民のために活かす仕組みづくり「知の循環」	36
(3)	スポーツ・レクリエーション活動の充実	
①	指導者養成並びに活動支援体制づくり	
	・ 大松杯バレーボール大会	37
	・ 激励制度	38
②	スポーツ・レクリエーション活動を気軽に楽しむ場の充実	
	・ スポーツの推進	39
	・ 子どもロードレース	40

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	① 学習習慣の確立と学ぶ意欲の向上

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

第三次宇多津町教育連携5か年計画の初年度にあたるこの年は、「対話を通して『誇り・敬意・創意』を育む教育」を念頭に、これらにつながる内容を各校園所の経営案や研修計画に盛り込み、実践に取り組んだ。また、家庭や地域においても、「誇り・敬意・創意」に対する意識が高まるよう、教育委員会や各校園所のさまざまな行事や会合、広報紙などを通じて啓発活動を行った。

[ 本年度の重点課題 ]

1 根拠や関係を考えることにより、学び合いを充実させる。

小・中学校では… 「学習課題を見つけ、共有する→関係付けて考える→根拠を持って表現する→学習を振り返る」という4つのサイクルにより、主体的・対話的で深い学びを目指した。

保育所・幼稚園では… 人との関わりを広げたり深めたりしながら遊ぶことができるよう時間と空間を見直し、幼児一人一人の理解に基づいてねらいを明確にした意図的・計画的な環境を作り出すことを目指した。

2 家庭・地域との連携のさらなる充実と情報発信

学校と家庭の連携・協働(対話)

…願いの共有、基本的生活習慣づくり、家庭の教育力向上、PTAや子育てサークルとの連携

学校と地域の連携・協働(対話)

…地域に開かれた学校づくり、地域から学ぶ活動の充実、地域の高等教育機関との連携  
地域のボランティア活動や行事への参加、地域の見守り活動、あいさつ運動

## 目標達成に向けた今後の課題

第三次宇多津町教育連携の1年次は「対話による追求 ～主体的・対話的で深い学び」を目標に、各校園で子どもの発達段階や実態を踏まえた研究実践に取り組んだ。各校での実践を踏まえ、次年度は学習のサイクルを今一度見直して改善していく余地がある。

また、各校での現職教育での取り組みといかに整合させて効率を上げ、しかも中身を濃いものにしていくかという課題にも取り組んでいかなければならず、各研修を通じて子どもを正しく理解する目を養っていかなければならない。

一方、保育所・幼稚園では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確化されてきた。今後は家庭・地域との連携をさらに充実させ、有効な情報を継続して発信していくことで、目標の達成に近づきたい。

## 【学識経験者の意見】

- ・ 町内各校園所が統一の共通目標を設定し、それぞれが目標に関連づけて具体的に活動計画を立てることは、平均化による学校間格差の是正、ひいては町全体の教育水準の向上に資する画期的な取り組みです。
- ・ テーマを言語化し、時系列化することで、共有されることは多大だと思えます。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	② 英語教育・外国語活動の充実

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 1. 町教育連携の取組みとして

- 平成30年度に向け、小学校の外国語活動の時間数や内容について話し合い、共通理解を図った。特に、高学年の外国語活動については、教科としての外国語に向けて、ALT活用等も含めて5・6年生で70時間実施での年間計画を立てることができた。
- 町連携や綾歌郡小学校教育総合研究会に向けての授業内容の検討を通して、校種を超えた視点から情報交換をすることができた。
- 英語アンケートの実施により、児童の外国語活動への意欲等を評価するための指標を得ることができた。

### 2. 各学校の取組み

保幼小中の滑らかな接続を実現するための取組や中学校でのオールイングリッシュの授業実践も実施し、英語を使う楽しさを味わう子どもが育ってきている。

宇多津小… ALT、担任、外国語活動担当が協力して授業を実施できた。また、30年度の新教科書に合わせた教材を作ることができた。

宇多津北小… 中学校との接続のために和英辞典を40冊購入して英単語を調べる活動等を行い、英語の文字に親しめるようにした。Englishタイムを改善し、外国に対する興味がより高まるようにした。

宇多津中… 中学1年生のコミュニケーションの時間に、小学校で作成した自己紹介カードを用いるなどして、スムーズな接続を意識した授業をしている。逆に、小学校5、6年の担任に中学校の授業で使う「Classroom English」の一覧を渡し、中学校の授業への抵抗が少なくなるよう配慮した。

## 目標達成に向けた今後の課題

- 宇多津町が文部科学省から指定を受けている「外国語活動に関する特別の教育課程編成」の内容について、新学習指導要領の高学年の教科としての外国語と、中学年の外国語活動との重複が大きい。今後、その重複部分を加味して「特別の教育課程編成・実施計画」を吟味する必要がある。
- 保育所・幼稚園、小学校と外国語活動を学んできた中学生の英語教育について、今後さらなる研究が必要である。
- 小学校までの外国語活動と中学校の英語を直結させるために、中学校の英語教諭が小学校5、6年の全クラスに週1回の割で授業に入り、学級担任、ALTと組んでT.Tを行う。

### 【学識経験者の意見】

- 宇多津町の教育課程特例校のモデル的先進的な取り組みの成果が継続されており、意欲や学力を高めています。
- 町内小中学校の連携は、中学校に合流することを考えるときわめて妥当な方策です。
- オールイングリッシュの授業実践はさらに継続を。小中の連絡を意識して小学校の先生に「Classroom English」を渡しておく工夫はとてもよい。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	③ 情報教育の推進

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 1. 29年度の取組み

(1) パソコンやタブレットを活用しての情報活用能力を推進した。

- ・パソコン技能検定の推奨
- ・「プログラミング教育」について文部科学省の資料で研修を実施
- ・ICTを活用した授業を実施

(2) 情報モラルの教育としてスマホ等の使用についての以下の事業を実施した。

- ・中学一年生を対象とした「さめき安心安全ネット指導員による学年集会」
- ・中学二年生を対象とした「非行防止教室(ネットトラブル防止)」
- ・小学校六年生を対象とした「非行防止対策(インターネットの利用の注意点や怖さ)」
- ・小学校五年生を対象とした「スマホ安全教室」

### 2. 次年度以降の取組み

- ・次期学習指導要領のプログラミング的思考について研究していく部会を平成31年度から町教育連携の中に設置する。
- ・中学校ではプログラミングの授業を始めた。

## 目標達成に向けた今後の課題

### 1. 情報活用能力の向上

パソコン等を利用して調べ学習や画像に残して可視化することで、授業で対話が生まれるよう工夫が必要

### 2. 情報モラル教育の充実

いじめやネットトラブルに巻き込まれないよう教育の充実が求められる。

### 3. 平成32年度から実施される小学校の次期学習指導要領からプログラミング学習が導入されることになっており、プログラミング的思考を育成する学習指導について研修を進めていかなければならない。

## 【学識経験者の意見】

- ・インターネットの利用によって自ら危険にさらされたり他者を害したりしない情報倫理の確立は、今もっとも解決が求められている課題です。町内各校がこの課題に適切に取り組んでいます。
- ・「情報教育の宇多津」というのも目標にしてほしい。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	④ 特別支援教育の推進 ～特別支援教育～

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 【現 状】

宇多津町では、特別な教育的支援が必要な子どもが年々増加傾向にあり、各学校（園・所）では子ども一人ひとりに合った適切な指導を行うよう努めているが、専門的な知識を持っている指導者が少なく、対応に苦慮しているのが現状である。そのような中、保育所から中学校までが連携して情報交換を密に行い、また、特別支援教育に携わる職員が県の研修会や町の特別支援部会に参加して研修を積み重ねることにより、町特別支援教育の拡充を目指している。

### 【各学校の状況】

	H27			H28			H29		
	知的	自閉症	肢体	知的	自閉症	肢体	知的	自閉症	肢体
宇多津小学校	①2	①8	①0	①5	①5	0	①2	②11	0
特別支援学級クラス数・児童生徒数	3クラス・10人			2クラス・10人			3クラス・13人		
通級学級児童数	20			22			24		
宇多津北小学校	①5	①5	①2	①5	①6	①1	②10	①6	①1
特別支援学級クラス数・児童生徒数	3クラス・10人			3クラス・12人			4クラス・17人		
通級学級児童数	5			4			7		
宇多津中学校	②9	①4	①その他 1	①5	①4	①1	①2	①4	①1
特別支援学級クラス数・児童生徒数	4クラス・14人			3クラス・10人			3クラス・7人		
通級支援学級生徒数	—			—			—		

### 【県・町研修】

特別支援教育コーディネーター研修会

特別支援委員会 年1回（H29年度 12月7日）

臨時特別支援委員会 ケースがあればその都度（H29年度 1回）

町特別支援教育部会（H29年度 年3回）

特別支援教育コーディネーターの町内公立幼稚園・保育所・小学校への巡回指導

### 【成 果】

各学校（園・所）では個に応じた支援が行われており、全職員が情報を共有し、学校全体で取り組むことができた。通級児童のほとんどが成果が上がっており、通級指導を希望する保護者が数名いる。

## 目標達成に向けた今後の課題

- 専門知識をもった教員が少ないので、県の研修会に積極的に参加したり、町内研修を充実する必要がある。
- 備品や教材等ソフト面の充実が望まれる。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 多大な困難を伴う特別支援教育が、保育所から中学校までの緊密な連携と担当者の研修によって問題点を共有し、その解決に真摯（しんし）に取り組んでいます。
- ・ 通級指導が宇多津の教育に大きな意味をもっています。ぜひさらに充実を。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	④ 特別支援教育の推進 ～ 教育相談 ～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 目的 特別支援学級（学校）に通う児童・生徒及び保護者、発達障害やその疑いのある児童・生徒及び保護者、発達が気かりな幼児等の保護者を対象に、園（所）・学校・家庭が連携し、幼児・児童・生徒の心身の発達に寄与することがねらい。
2. 年間回数
  - (1) 月1回を原則に、年間13回（4月開始、8月のみ2回）実施。4人程度/回。
  - (2) 8月に実施する2回は、就学相談として、就学前年長児及び保護者を対象に教育相談を希望してきた。また、この教育相談以外にも、保健センターの相談員に依頼して、希望者全員に相談活動を実施している。
3. 実施体制
  - (1) 月1回、午後1時～午後5時までを原則に、各4人ずつの予約制。
  - (2) 現在11名が継続で年間予約し、学期に1度の割合で相談を受けている。
  - (3) 毎回、原則第1番目の枠13:00～14:00を「新規枠」として確保し、対応している。
4. 相談員委嘱者 松本 矩子 先生
  - (1) 所属 発達相談室「まつもと」
  - (2) 資格 言語聴覚士、特別支援学校教員免許
5. 他機関との連携
  - (1) 所属の園（所）・学校
  - (2) 医師、施設等の専門機関

### 目標達成に向けた今後の課題

1. 相談者の減少に対して
 

年度初めに1年間の予定を立てるため、実施時期になったの取り消しや変更も見られるので、年度途中での見直しを検討してみたい。また、年度途中での受け入れにも対応できるよう各小学校との連携の方法も探してみたい。一方、就学前の相談は希望者が増加しているので可能な限り対応できるようにしたい。
2. 今後の課題
 

8月に実施している「就学時相談」で申込んできた幼児と保護者への働きかけを行い、継続的な支援へとつなげることができればと考えている。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 不安と焦燥感を持つ、特別支援を要する子どもを持つ保護者への適切な対応ができています。できれば、課題1に書かれている実施できるよう配慮をお願いします。
- ・ 現在、この種の相談のできる専門家が少ない。育成はできないものの、上手に呼び寄せる方法はないものだろうか。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(1) 宇多津町教育連携5か年計画による教育の推進
事業内容	④ 特別支援教育の推進 ～ 私の成長シート ～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 1. 「私の成長シート」の実施

- ・ 公立の保・幼・小と教委が連携をとり、6月に29年度計画について事前打ち合わせを行った。
- ・ また、6月初旬には、公立私立の保・幼の年長の担任と小・中の特別支援教育コーディネーターと町教委が集まり、昨年度の取組み状況と、29年度の計画及び就学指導委員会の資料作成等について検討した。
- ・ 昨年度から引き続き29年度入学児童にかかる就学指導として、6月初旬に「わたしの成長シート」を配布。

#### 2. 実施結果

- ・ 25人の保護者より、相談希望があり、19名について7月、8月、9月に教育相談を実施した。
- ・ また、各所・園が就学指導委員会の資料を作成し、説明もできた。その結果、各児童の状態に沿って、特別支援学級で5人、通級による指導教室で1人支援することができた。

#### 3. 進捗度

予定通り進行している。

### 目標達成に向けた今後の課題

10月の就学前健康診断において、状態に問題のある子どもがまだ少数見受けられるため、学校から保護者に連絡して教育相談等につなげているが、教育支援委員会で保護者の理解を得られるよう、十分配慮する。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 特別支援を必要とする子どもを持つ保護者との教育相談が、順次適切に行われています。各所・園と就学指導委員会との連携も適切です。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(2) 教職員の資質・能力の向上
事業内容	①町教育連携協議会の充実 ②ステージ研修の充実

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

- 1 町教育連携協議会の充実 …… 年2回実施。
- (1) 第1回 6月21日(水) 宇多津小学校・宇多津幼稚園 13:30~16:30
- ・授業参観 宇小5年 社会「米作りのさかんな地域」  
及び授業討議 2年 通級指導教室「よく見てよく聞いてしっかり考えよう」  
幼稚園5歳児「なかまとともに ~友だちと意思を出し合って~」
  - ・ステージ研修 …… (後述)
- (2) 第2回 10月18日(水) 宇多津北小学校・町立中央保育所 13:30~16:30
- ・授業参観 宇北小3年 算数「新しい数-分数-」  
及び授業討議 6年 外国語「Welcome to Ukita Travel Agency62」  
中央保4・5歳児「なかよしペア~異年齢交流~」
  - ・ステージ研修 …… (後述)
- (3) 情報交換部会 保幼小中の関係教職員が集まり、年間計画に従い2~4回実施。
- ① 小1連絡会 ② 中1連絡会 ③ 健康教育部会 ④ 特別支援教育部会  
⑤ 不登校部会 ⑥ 読書指導部会 ⑦ 英語教育部会
- (4) 夏季研修 8月4日(金) 宇多津町保健センター4階大研修室 8:40~12:10
- ① 人権・同和教育講演会  
演題:「人権・同和教育の推進について」  
講師: 県教委人権・同和教育課主任指導主事 地下雄二 氏
- ② 地域保健委員会講  
演題:「子ども・家庭とともに私たちが取り組めること」  
~福祉的視点で子どもの生活を理解することとは~  
講師: 県教委学校支援アドバイザー 県スクールソーシャルワーカー協会会長 藤澤 茜 氏
- 2 ステージ研修の充実
- 教職員特例法の一部改正を受け、町連携でも年代別の研修を取り入れ、経験年数に応じた共通の課題を持つ教職員どうして研修を深めることで、実践的指導力の向上を図る。
- ・若年研修部会 …「授業規律・学習のさせ方について」「児童理解・学習生活指導」等
  - ・ミドル研修部会 …「地域との連携の在り方について」「組織マネジメント」等
  - ・ベテラン研修部会 …「授業改善について」「若年教員に伝えていくこと」「家庭・地域との連携」等

## 目標達成に向けた今後の課題

教職員の働き方改革が声高に取り上げられ、ともすれば「削ること」「軽減すること」のみが重視されがちであるが、実際には教育の質を高めるために欠かせないものがある。具体的には、次年度以降の課題として次のことに取り組んでいきたい。

- ① 授業改善に向けての各校の取組と町連携が目指すものを一元化し、研究の柱を確認すること。
- ② 子どもや家庭・地域の実態を踏まえ、ステージ研修で取り上げる課題を見直してより充実したものにしていくこと。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 各所・幼・小・中の連携による問題解決型の情報交換部会の設定、研究授業の相互参観など、県内の他の市町には見られない、独創性のある教育施策によって、教師の指導技術の向上と町の教育水準を高めています。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(3) 安心・安全な学校づくり
事業内容	① 実践的な防災教育の実施と防災力の向上

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 1. 防災研修活動

##### (1) 教職員研修

シェイクアウト（県民一斉地震防災行動訓練）や避難訓練を実施する前に共通理解を図り、事前指導について協議している。また、職員会等では危機管理マニュアルやニュース、新聞記事等を活用したりして、いつでも対応できる心構えと危機管理に努めている。

##### (2) 教職員の共通理解のために

日赤の救急救命士や坂出消防署の方を講師に招いての心肺蘇生法、AED、エピペンの使用について、すべての学校園での実技研修を検討している。

#### 2. 防災教育 幼・小・中ともに11月の香川県シェイクアウトに参加。

幼稚園： 防災頭巾の被り方、煙カーテンの実技、「防災ダック」のゲームを使って大規模地震を想定した避難訓練や火災を想定しての避難訓練等を実施した。

宇小： シェイクアウト訓練を兼ね、地震の発生に伴って大東川決壊による洪水が発生したと想定した訓練を実施し、全校生が2階への避難を行った。

宇北小： 緊急時の引渡し訓練の場所を各教室から体育館に変更した。また、不審者に対する避難訓練では、対応していた教職員が負傷したという設定をした。児童の安全に加え、教職員が被害を受けた時の対応について、坂出警察署から指導を受けることができた。

宇中： 9月と1月には避難訓練を実施。9月は地震想定、1月は火災を想定して行った。また、11月には香川県シェイクアウト訓練に参加し、地震の際の対応について再確認した。毎月の安全点検を通して全職員が校内の安全な環境の維持に努めている。

### 目標達成に向けた今後の課題

- ・ 南海トラフ巨大地震への備えの意味では、児童・生徒にも教職員にも予告せずに行う避難訓練も必要ではないかと考えている。例えば休み時間に発生した場合を想定した訓練を実施するなどして職員が臨機応変に判断し、子どもも自分で考えて主体的に動けるような力を身につけていくことが必要となる。
- ・ 各校園においては多様な場を設定した訓練が、専門家等を招いて工夫を凝らして実施されてきている。こうした日ごろからの訓練が、本番での動きを左右すると考えられる。今後は水泳学習前の心肺蘇生、エピペンの使い方等の教職員研修を実施したい。
- ・ 今年度、各学校（避難所）に県より避難所用の備蓄米・水等が配布され保管されているが、その活用法や管理等を含めて、避難所の運営という点でも、教職員の共通理解を深める必要がある。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 町内各校とも、30年以内に発生が予想される南海トラフによる大規模災害に備えての避難訓練、救命のための実技研修の検討等が適切に実施または検討されています。
- ・ たとえば①地震のみの場合②津波を伴う地震③津波のみ、の場合では自ずから対応も異なる。学校は多種多様な災害への備えを具体的にしていけるべき。その一方で、自分の命を自分で守るための確かな判断力も高めていかなければならない。
- ・ 心肺蘇生やエピペンの使い方等の教職員研修は、できる限り早め実施してください。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

<b>施策目標</b>	<b>1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進</b>
<b>施策項目</b>	<b>(3) 安心・安全な学校づくり</b>
<b>事業内容</b>	<b>② 交通安全教育の充実</b>

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

(学校の取り組み)			
	目 標	登下校指導	交通安全教室
宇多津小学校	「自分の命は自分で守る」という安全意識と実践的な態度を育む交通安全指導に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校時の立哨指導</li> <li>・担当する地区の危険箇所点検 現地指導</li> <li>・リーダー指導、班長会で指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室(6月、1・2年)</li> <li>・自転車点検教室(8月、3年生)</li> </ul>
宇多津北小学校	児童の安全に対する意識を高め、交通ルールを守って、安全に生活することができる子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校時の立哨指導。</li> <li>・担当する地区の危険箇所点検</li> <li>・現地指導</li> <li>・安全マップの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室</li> <li>・自転車実技指導(1学期、4年生)</li> </ul>
宇多津中学校	日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、すすんで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全確認</li> <li>・交通法規の意義と安全についての講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室(1年)</li> <li>・自転車点検</li> </ul>
<p><b>(組 織 活 動)</b></p> <p>PTA・・・立哨指導、地域安全パトロール、学校支援ボランティアによる巡回                      交通指導員・・・登校指導                      青パト(町住民生活課)・・・朝、夕の町内巡回</p>			

### 目標達成に向けた今後の課題

- 指導内容が、子どもたちの意識の中で定着させるための手立て。
- 「自分の命は自分で守る」ことができる子どもの育成。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 各校の交通安全指導と対策が地域と連携して、実践的に理解させる取り組みは適切です。
- ・ 登校時の対応はよく考えられていますが、下校時の安全対策についても、もう少し考えてみてはいかがでしょうか。
- ・ 危険箇所の点検結果が学校内、家庭、地域で周知共有され、処置されることが大切です。
- ・ 幼稚園まで組み入れた取り組みにしてはどうでしょうか。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(3) 安心・安全な学校づくり
事業内容	③ 問題行動等の未然防止・指導体制の充実

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 1. 文部科学省による調査から

(1)	暴力	対教師	破損	いじめ	解消	不登校	解消	指導中	自殺	調査結果数は 左記のとおり
小	3	2	1	1	0	4	0	2	0	
北	2	0	0	6	3	10	10	0	0	
中	21	1	1	23	0	28	13	15	0	

### (2) 結果からの考察

前年度と比較して、暴力・いじめ・不登校いずれも特に中学校において増加している。しかしながら、校内の空気そのものは落ちついており、重大化する前に早期発見し、速やかに対処するという姿勢は感じ取れる。

### 2. 生徒指導に対する施策

#### (1) 校内の組織的努力

- ① 教職員が一体となって、未然防止と早期発見・早期対応にあたるなどの取組や、家庭・地域社会等の理解を得て、地域ぐるみでの取組を推進している。
- ② 「チーム学校」の構築… 県費教職員だけでなく、学校には町講師・支援員等のほかにSC・SSW・SSTなどが配置されている。こうした専門家が役割を發揮して対応する。
- ③ 地域ぐるみの連携として「いじめ防止等対策委員会」や「サポートチーム連携協議会」、民生児童委員や少年育成センターの協力も得ている。

#### (2) 外部専門家を活用した連携による対策

- ① 暴力行為や自殺等については、警察等の関係機関と連携した取組を推進し、毅然とした指導を粘り強く行うなどの対応を行っている。
- ② 事案によっては、児童相談所や中讃保健事務所、家庭支援センター等による、家庭全体への支援も必要な場合もあり、総合的見地からの取組を推進している。

## 目標達成に向けた今後の課題

### 1. 問題行動等の把握・・・各学校からの「月別生徒指導に関する状況調査」

各学校からは、生徒指導上の問題や事故が発生した場合、重要な事項については電話で「速報」として速やかに報告される。また、毎月「状況調査」が実施され、問題行動や不登校の全体的な状況が報告される。

### 2. 最近の特徴とそれに対する手だて

発達障害を抱えた幼児児童生徒による問題行動への対応に追われることが多くなっており、SSWやSC、支援員等の協力を得ながら指導にあたっている。今後は、SSWの増員や、医療機関など専門家との連携を具体的に模索していくことも必要である。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 問題行動の早期発見と対応、学校・地域との一体的取り組みによる未然防止策が適切にとられています。今後さらに組織的な対応を進めていくことが大切です。
- ・ 中学校のいじめ、不登校が気がかりです。いじめ防止等対策委員会の具体的な対策、不登校についてのSSW、SST、SCの取り組みが求められます。また、いじめた側の生徒への手だてが必要なケースが多々あるので、それを見逃さないようにすることが重要です。
- ・ 予防のための教育、指導にさらに取り組んでください。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(3) 安心・安全な学校づくり
事業内容	④ 学校情報・地域情報配信の充実

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

- メール配信の登録 平成29年度メール登録件数 2,087件
  - ・町立の幼稚園、小・中学校の保護者及び学校関係者に、毎年4月又は随時にメール配信（変更）登録を呼びかけ、手続きを行う。
- 不審者情報の配信
  - ・県警本部からの「子ども安全情報」の提供があれば、教育委員会から不審者情報の配信を行う。
  - ・香川県警察ヨイチスマートメールに登録し、より情報の収集に役立てている。
  - ・宇多津町福祉施策の一環として、認知症などで高齢者の行方不明者が発生した場合の一斉配信にも活用している。
- 学校からのメール配信
  - ・そのほか災害情報（気象警報等）による登下校時間の変更、臨時休校及び学校行事等の情報について、教育委員会及び各幼稚園、学校からメール配信する。
  - ・平成29年度メール配信件数（新システム）
 

学校教育課	29件	宇多津小学校	25件
宇多津幼稚園	10件	宇多津北小学校	26件
少年育成センター	31件	宇多津中学校	10件
		計	131件

### 目標達成に向けた今後の課題

- 毎年更新時期に学校に出向き、情報配信登録の手続きの補助や質問を受け付けており、登録率は上昇している。
- 活用中のヨイチスマートメールについても、多くの情報を得られ対応できている。
- 平成29年9月1日より、情報配信業者が新しく変わり、保護者への周知と各学校、幼稚園、育成センターへのマニュアルを作成し配布した。  
学年更新の際、各小学校に情報配信についての問い合わせの対応に赴いたが、件数は少数だった。今後の課題としては、マニュアルに基づいて課内の職員誰もが配信メールの対応ができるようにしたい。

### 【学識経験者の意見】

- ・情報の配信が前年度に対して倍増し、安全で便利な町づくりに役立っています。
- ・メールの登録件数の増加は、呼びかけの成果です。
- ・メールと同時にHPでも知らせるシステムにしてはいかがでしょうか？最近の親御さんはLINEが主流ですが、SNSを今後どう用いるかも検討しておく方がいいと思います。
- ・通信障害が発生した時の対応についても、事前に対応を準備しておくとういと考えます。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(4) 健康教育の推進
事業内容	①安全・安心な学校給食の実施

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 1. 食物アレルギーへの対応について

平成29年度に「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成した。平成30年度より、マニュアルに則った給食を提供する。

#### ①新入生の対応

就学時健康診断にて保護者宛に調査票を配布し、アレルギーの有無及び学校給食における対応の希望を確認する。対応希望者には診断書及び学校生活管理指導票を提出してもらう。

#### ②個人面談の実施

学校関係者、栄養教諭・職員、調理関係者、教育委員会により、個人面談を実施する。発症時の症状等詳細を聴取し、対応の可否・内容について連絡する。

#### ③アレルギー対応食指示書の作成

栄養教諭が案を作成し、調理委託業者との打ち合わせを行い、相互の確認をおこなう。

#### ④保護者への対応

アレルギーに対応した予定献立票を毎月配布し、確認していただく。

#### ⑤調理業者の確認事項

必要な食材を購入し、適切な調理・配送を行う。

### 2. 対象者について（平成30年3月31日現在）

中央保育所	5名	
宇多津幼稚園	11名	
宇多津小学校	8名	
宇多津北小学校	23名	
宇多津中学校	7名	計54名

## 目標達成に向けた今後の課題

- ・ アナフィラキシーショック発生時に対応するため、香川県小児科医会が作成した、「アレルギー対応緊急マニュアル」に基づき、エピペンをを使った研修を継続して行う。
- ・ 対象児童について、校内で情報を共有し、共通理解を図る。他の児童についても、アレルギーに対して理解を深めるように努める。
- ・ マニュアルの運用に当たり、全ての児童・生徒に安全な給食を提供するため、適切に改訂を行う。

## 【学識経験者の意見】

- ・ 食物アレルギーへの対応について、保護者からの聞き取り、医師の診断など、該当者への個別対応など、徹底した学校給食対策がとられています。
- ・ 子どもの健康と安全を守るための取り組みは、県下に誇れるレベルのものです。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(4) 健康教育の推進
事業内容	② 家庭と連携した食育の推進並びに生活習慣病の予防促進

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 対象者 小学校・・・4年生（196名） 6月実施  
中学校・・・1年生（145名） 6月実施
2. 検査項目と結果  
肝機能検査：GOT（AST）・GTP（ALT）・γ-GTP  
脂質検査：総コレステロール・HDL-コレステロール・LDL-コレステロール・中性脂肪  
糖尿病検査：HbA1c（酵素法）  
貧血検査：赤血球数・血色素量・ヘマトクリット  
☆一次検査受診者：小学校176名・中学校145名  
観察者（要精検査者）：小学校 41名（17名）・中学校24名（3名）  
☆二次検査 受診者：小学校31名・中学校0名  
観察者（要精検査者）：小学校29名（8名）・中学校0名
3. 個別指導の必要な児童について
  - ・ 懇談時に保護者と生活習慣の改善について話し合う。
  - ・ 夏休みに開催した元気っ子クラブは、香川短期大学生活文化学科の協力で29名の参加により、児童は養護教諭による小児生活習慣病についての保健指導を行い、保護者は香川短期大学の講師による「和食から学ぼう賢い食生活」と題した講話を聞いた。
  - ・ 親子で調理実習 【野菜たっぷりぶっかけそうめん・夏野菜ミックスジュース】

### 目標達成に向けた今後の課題

1. 昨年度の反省会で参加率の少ないこと、又香川短期大学との協力を得られることなどで、年1回の開催とし、時期は食生活習慣の見直しを主に考え、6月の血液検査の結果を元に指導を考えるのであれば、夏休みの初旬がよいとの意見があった。又、保護者の参加を募るのであれば、土曜日がよいという意見もあり、今回は7月29日（土）に開催したが、場所の確保、勤務形態の確認など、新たな課題もできた。
2. 参加者のアンケートでは、調理実習に関する好感が得られた反面、時間が長いなどの意見もあった。来年度の元気っ子クラブの開催の課題である。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 健康教育における県内の先進町としてのモデル的取り組みがなされており、該当者に対して徹底したフォローがなされています。
- ・ とても大切な取り組みです。時間などをさらに調整して、充実した実施を目指してほしい。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(4) 健康教育の推進
事業内容	③ 基本的な生活習慣を身につけるための啓発活動の促進

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### (1) 早朝ラジオ体操

- ・日時：夏休み(7/21～8/31) 朝6時30分～ ラジオに合わせて約10分間
- ・場所：町内28会場 ・参加者:1,391人(昨年度は1,478人)
- ・周知方法：各幼・保・小・中にカードと日程表を配布。町広報誌、自治会回覧
- ・目的：決まった時間に起床し、ラジオ体操に参加することにより、規則正しい生活を送る。  
地域の人や近隣の子どもたちと交流の場を設ける。

#### (2) 広報誌による「家庭教育啓発月間」

- ・7月号に家庭教育啓発月間(7月1日～8月31日)の記事を掲載する

### 目標達成に向けた今後の課題

- ・ 啓発活動をさらに積極的に行い、ラジオ体操を通して基本的な生活習慣である「早寝・早起き・朝ごはん」を推進する。
- ・ 家庭教育啓発月間では、「早寝早起き朝ごはん」や「あいさつ」をはじめとした望ましい生活習慣づくりに地域一体となって取り組む。

### 【学識経験者の意見】

- ・ ラジオ体操を実施するために、多くの会場が身近なところで設定されたことが参加数を増やしています。
- ・ 大人との交流、共通体験は、子どもの成長には不可欠で、相乗効果が期待されます。
- ・ ラジオ体操への小・中学生の参加率が高い地域では、地域で子どもを育てるという意識が感じられ、地域の一体感も高まる。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(5) 教育施設の環境整備
事業内容	① 学校諸施設の整備・充実

平成29年度実施内容		
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。		
校舎等工事及び環境整備		
	工事名・概要	工事費（円）
(宇多津幼稚園)	西園舎流し台他設置工事	432,000
	保育室トイレ等改修工事	27,990,360
(宇多津小学校)	雲梯設置工事	561,600
(宇多津中学校)	調理準備室電話設置工事	88,560
	普通教室テレビ改修工事	2,268,000
	普通教室エアコン改修工事	1,296,000
	校舎(中庭側)外壁改修他工事	14,686,920

目標達成に向けた今後の課題
<p>1. 施設・設備の老朽化が進み、施設の改修工事や維持改修工事等、計画を立て優先順位をつけて執行する必要がある。</p> <p>2. 今後改修が考えられる箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●宇多津幼稚園:事務室の電話配線工事、プール階段改修工事、低いコンクリート塀の改修</li> <li>●宇多津小学校:外壁・プレイルーム屋根の改修、給配水管等老朽改修工事、野球バックネット改修工事</li> <li>●宇多津北小学校:校舎外壁・屋根改修 体育館外壁・屋根改修</li> <li>●宇多津中学校:特別教室テレビ(モニター)改修工事</li> <li>●宇多津小学校:大型提示装置(テレビモニター)設置工事</li> </ul>

### 【学識経験者の意見】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備が老朽化した施設から順に、重点的かつ適切になされています。</li> <li>・老朽、危険施設の更新と近代化施設の創設が、交互に、同時進行で実施されることが望ましい。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	1 自ら自分の未来を切り拓く教育の推進
施策項目	(5) 教育施設的环境整備
事業内容	② ICT化の推進

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 1. 29年度の取組み

- ・ 中学校の全ての教室に平成28年度・29年度の二カ年で大型提示装置(50型)を設置
- ・ 統合型校務支援システム導入に向けた説明会に参加

### 2. 次年度以降の取組み

- ・ 小学校への大型提示装置の設置
- ・ 統合型校務支援システム導入の研究

### 3. 各施設ごとの現状

#### ・ハード

	デスクトップ	ノート	タブレット	印刷機	大判プリンター	画像カメラ	プロジェクター
小学校	4	38	62	4	1	1	0
北小学校	44	47	28	4	0	2	2
中学校	41	43	30	5(内3台更新)	1	0	0

#### ・ソフト

	タブレット用	共同学習	ワープロ	ホームページ	授業支援	グループウェア	その他
小学校	ジャストスマイル	ベネッセ	ジャストシステム	ふれあい通信	—	—	
北小学校	ジャストスマイル	ベネッセ	ジャストシステム	—	ネットウィッチ	—	
中学校	ジャストジャンプ	—	一太郎プロ	ふれあい通信	スカイメニュー	ミライム	フィルタリング

## 目標達成に向けた今後の課題

1. 政府は、2020年までに、児童生徒全員にタブレット端末を配置促進を掲げている。
2. 本町としては、H26年度に宇小、北小がパソコンリース切替え、タブレットパソコン導入、中学校はH28年度タブレット等を更新した。H31年度は小学校のパソコン更新時に台数等を検討していく必要がある。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 情報機器の整備と近代化に積極的に取り組んでいます。町内各校の機器の充実度は、県内でもトップクラスです。
- ・ 使用するソフトの有無や種類がまちまちだが、町全体である程度の統一性が必要ではないか。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(1) 地域の教育力を活用した学習等支援＝地域力
事業内容	① 学習等支援体制づくり

平成29年度実施内容					
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。					
<b>《学校支援ボランティア促進事業》</b>					
<b>1. 事業のねらい</b>					
学校支援活動に参加する意欲のある地域住民に、学校と調整・連携を図りながら、学習支援、環境整備等のボランティアに積極的に参加してもらう。					
<b>2. 経過と事業の趣旨</b>					
本事業は、教育活動支援や環境整備支援など学校が必要とする支援活動を行い、教員の子どもと向き合う時間の拡充や地域の教育力の活性化を図ろうとするものである。					
<b>3. 具体的な取組み</b>					
宇多津小学校・・・授業支援（総合学習、生活科、家庭科）、放課後学習支援、読み聞かせ 昔の遊び・暮らしのお話と体験（老人会）、校区内パトロール					
宇多津北小学校・・・読み聞かせ、ふれあいタイム支援、授業支援（家庭科） 校区内パトロール、うどん作り（老人会・おか泉）					
宇多津中学校・・・あいさつ運動 他					
	目標値	H26	H27	H28	H29
ボランティア保険加入人数	100	50	54	81	48

目標達成に向けた今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度、地域学校協働活動を実施する予定。町教育委員会が地域コーディネーターを任命し、各校支援ボランティアへの連絡及び調整をお願いする。</li> <li>次年度、地域学校協働本部を立ち上げ総合化・ネットワーク化を図り、「支援」から「連携・協働」を目指す体制を徐々に構築していく計画である。</li> <li>中学校における支援活動が少ないため、中学校にふさわしい支援内容を検討する。</li> </ul>

【学識経験者の意見】
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援ボランティア活動の貢献度の高さが窺えます。</li> <li>「目標達成に向けた今後の課題」のところに記されている計画が実現すれば、充実したボランティア活動となります。</li> </ul>

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(1) 地域の教育力を活用した学習等支援＝地域力
事業内容	② 体験活動・交流活動の充実

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

《うたづ寺子屋》

#### 1. 実施日時及び会場

前期：平成29年7月28日（金） 南隆寺  
 平成29年7月31日（月） 宇夫階神社  
 後期：平成29年8月25日（金） 本妙寺  
 平成29年8月28日（月） 南隆寺  
 平成29年8月29日（火） 西光寺  
 平成29年8月30日（水） 宇夫階神社

#### 2. 実施事業

- ・坐禅・写仏体験教室
- ・鎮守の森を守ろうポスター作成
- ・英語寺子屋
- ・食にまつわるお話
- ・お寺の作法を学ぼう
- ・学校給食センターのお話
- ・クイズでお魚のことを学ぼう
- ・まち歩き

#### 3. 参加人数

- ①申込者数 宇小24名（24名） 北小36名（33名） 計60名（57名）  
 ②延べ参加者数 宇小91名（68名） 北小130名（107名） 計221名（175名）  
 （カッコ内は前年度実績値）

### 目標達成に向けた今後の課題

#### 1. 会場について

町内寺社に会場協力について問合せを実施。宇夫階神社、南隆寺、西光寺、本妙寺の4寺社が対応可能との返事をいただく。次年度以降も予定を確認し、会場を決定する方針。

#### 2. 実施事業について

学校・地域の方々による協力の下で、様々な内容を学ぶことができる場となっている。定例となっている内容のほか、参加者からの声を反映して事業を計画する。

#### 3. 実施時期・人数について

教育週間・今日行く習慣との連携のため、前期2日間、後期4日間の日程で開催。1日当たりの参加者数は大きな変動が見られない。会場容量にみても余裕があるわけではないため、現状維持を目標としたい。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 町内の児童が地域への参加と地域から学ぶユニークな社会教育で、宇多津教育の独自性がよく出ています。社会教育として果たしている教育効果が非常に大きい。
- ・ 受け入れ限度いっぱいの参加数からも、盛況が窺えます。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(1) 地域の教育力を活用した学習等支援＝地域力
事業内容	③ 放課後児童の居場所の充実

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 1 放課後子ども教室（小学4年生～小学6年生）

#### ●スポーツ活動

内容	場所	日	時間	児童数
卓球①	北小学校体育館	毎週水曜日	15:30～17:00	15
卓球②	宇多津小学校第1体育館			5
バドミントン	北小学校体育館			47
グラウンドゴルフ	中央公園			28
ドッジボール	宇多津小学校プレイルーム	毎週水曜日 毎週土曜日	15:30～17:00 13:30～15:30	38

#### ●学習

内容	場所	日	時間	児童数
宇多津小学校区	宇多津小学校内	毎週月～金曜日	下校後～17:00	15
北小学校区	北小学校内			18

### 2 放課後児童育成クラブ（小学1年生～小学4年生）

内容	場所	開設日数 (年間)	時間	児童数 (年間平均)
宇多津放課後 第1スマイルクラブ	宇多津小学校空き教室	276日	下校後～18:00 *延長保育19:00	34
宇多津放課後 第2スマイルクラブ				31
宇多津北放課後 第1キッズクラブ	キッズプラザうたづ（児童館）			33
宇多津北放課後 第2キッズクラブ	民有地借り上げ施設			23
宇多津北放課後 ジュニアクラブ	北小学校内			28

## 目標達成に向けた今後の課題

### 1 放課後子ども教室

- ・各活動の継続維持と子どもたちの対応に適した人材の確保
- ・指導員の資質向上を目的とした研修会の受講

### 2 放課後児童育成クラブ

- ・スマイルクラブ（宇多津小学校区）活動場所の老朽化に伴う建物の修繕（耐震工事を含む）
- ・放課後クラブの活動状況を随時確認・把握し、多様化する要望への対応の可否を検討すること
- ・児童数に適した活動場所の確保と支援員数の配置
- ・支援員の資質向上に向けた研修会の受講

### 【学識経験者の意見】

- ・児童福祉法の趣旨にふさわしい、充実した取り組みがなされています。開設日数も多く、児童の健全育成、非行防止、安全確保、体力づくりなど、親の不安を減らし、子どもたちに居場所を与える効果があり、非常に有意義です。
- ・人材の確保は難しい問題ですが、お願いします。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(2) 他者への思いやりや自尊感情の育成
事業内容	① 地域活動への積極的な参加促進

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 1. 具体的実践内容

- (1) 宇多津幼稚園 6月と12月の年2回、町内のクリーン作戦に保護者や家族といっしょに参加することを呼びかけている。全園児での参加率は15%。参加した園児には後日、ごほうびシールを配ることで、参加意欲の向上につなげられるよう取り組んでいる。
- (2) 宇多津小学校
  - ・全校生が力を合わせてボランティア活動に取り組んでいる。
  - 朝のあいさつ運動 朝の清掃活動 あいさつの花運動 大東川ごみ拾い  
トイレの窓開け ボランティア強化月間
- (3) 宇多津北小学校
  - ・「チョボラ活動」として各学級で内容を話し合い、毎朝正門や北門付近の掃除をしたりあいさつ運動の手伝いをしたりして取り組んだ。
  - ・町内クリーン作戦への積極的な参加を呼びかけ、参加者が100名を超えた。
  - ・ペア学年による学校周辺のボランティア清掃を行った。
- (4) 宇多津中学校 生徒主体の集会を毎月位置付けて、委員長から表彰者の発表をしている。
  - ・エコキャップ回収 ・町内一斉清掃（年2回） ・赤い羽根共同募金
  - ・日曜サロンと日曜日市 ・うたづっこふくしセミナーでの発表
  - ・夏休みボランティア ・うたづの町家とおひなさん ・北小フェス

#### 2. ボランティア銀行に贈呈されたハート数と各団体への贈呈品

- (1) 宇多津小学校 386,167ハート 陽だまり食堂に調理器具、寿楽荘にCDラジオ他
- (2) 宇多津北小学校 346,989ハート ユプラザ うたづ、あみのうら交流センターにウォーターサーバー他
- (3) 宇多津中学校 201,450ハート ふれあいいいききサロンにレクリエーション用品他

### 目標達成に向けた今後の課題

- ・ボランティア貯金が定着してきているので、常にボランティアについて意識できるよう、通帳への記入の仕方について工夫していく。
- ・ボランティア委員会が中心となり、PTA活動とも連携してボランティアを活性化させる。
- ・ポイントやカードをもらえなくても変わらず活動を続けられるよう、本当のボランティアについて考え自ら実践していける、豊かな心の育成に努める。

#### 【学識経験者の意見】

- ・人のため地域のために役立つ善意を育てる教育に、各校が独自の色を発揮して積極的に取り組んでいます。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(2) 他者への思いやりや自尊感情の育成
事業内容	② 異年齢交流活動事業の推進

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 《 子供会活動 》

##### 1. 町補助金

年間495,000円

##### 2. 加入者数

幼児：23名 小学生：196名（昨年度213名） 中学生：13名

育成者等：151名 合計：383名（昨年度410名）

##### 3. 単位子ども会数

8単位（坂下西、網の浦が会員数減少により解散したが、宇小地区、北小地区に新たに結成されたため、単位数は変わらず。）

##### 4. 町子連 異年齢交流活動実施事業

平成29年 6月18日 ニューソフトバレーボール大会 76名

平成29年 7月 2日 田植え体験教室（協力：うたづ遊友健康づくりの会） 50名

平成29年 7月30日 親子ふれあいデイキャンプ 67名

平成29年 9月 3日 海上防災親子教室 47名

平成29年10月22日 稲刈り体験教室 59名

平成29年10月28日 太鼓台運行事業 70名

平成29年12月26日 もちつき大会 90名

平成30年 2月25日 わくわくイベント 67名 計526名

### 目標達成に向けた今後の課題

#### 《 組織について 》

- ・ 現在の募集手段は、町広報誌、両小への壁新聞、年度初めに会員募集チラシを配布している。
- ・ 毎年確実に会員数が減少しており、原因として少子化や、土日に塾やスポーツ教室等に通っている児童が多い、共稼ぎ世帯が増えた、役員が当たる前に辞めてしまうことなどが考えられる。
- ・ 会員と相談しながら、子どもも大人も楽しめる魅力的なイベントを企画し、参加者数増加につなげる。
- ・ また、「子ども会のお兄さんお姉さん」として活躍してくれるジュニアリーダー（中学1年生～高校3年生）を募集し、異年齢交流のパイプ役として推進していく。

#### 【学識経験者の意見】

- ・ 異年齢交流型の地域体験学習は、社会性、協調性、積極性などの人間性を育て、高める最善の教育です。宇多津教育の特色がよく出ている教育事業です。
- ・ 異年齢交流やジュニアリーダーの育成は、非登校問題の対策としての活用も可能ではないか。
- ・ 今、子どもが忙しい時代です。ジュニアリーダーの意義をより伝えるべく、何か手立てを考えねばなりません。今いる13名が大切な礎です。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(3) 家庭教育活動の推進並びに支援体制づくり
事業内容	① 家庭教育支援体制づくり並びに学習機会の拡充

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 《 家庭教育学級 》

就学時健康診断や保護者会、参観日など、多くの保護者が集まる機会を活用した学習機会を作る。

- 宇多津幼稚園 5/23 「家庭教育学級並びに給食試食会及び給食参観」 参加者:80名  
 講演:「頑張り過ぎない子育て」 講師:元坂出市立幼稚園長 三野孝子先生
- 宇多津北小学校 10/12 「平成29年度入学周知会、家庭教育学級」 参加者:120名  
 講演:「就学前に親としてできること」  
 講師:スクールカウンセラー 瀬川 知世先生
- 宇多津小学校 10/26 「平成29年度入学周知会、家庭教育学級」 参加者:60名  
 講演:子どもの自立を促していくかわり方について  
 講師:県職員 家庭教育担当 主任指導主事 森 多佳司先生
- 宇多津幼稚園 2/6 保育参加(春の市)及び家庭教育学級 参加者:71名  
 講演:「子どもの自立を促していくかわり方について」  
 講師:県職員 家庭教育担当 主任指導主事 森 多佳司先生
- 宇多津幼稚園 2/13 「いのちの誕生」出前講座 参加者:59名  
 講師:ぼっこ助産院 田中幸子先生、鈴木香奈子先生 計5回、390名

### 目標達成に向けた今後の課題

- ・ 従来の就学時健康診断や保護者会、参観日など、多くの親が集まる機会を活用し家庭教育学級を開催するとともに、放課後児童育成クラブの周知会の際にも講演を行う等、多くの学習の機会を作る。
- ・ 婦人会による親子料理教室などの新事業を計画し、親子で楽しむ機会を作る。
- ・ 園児や小・中学生と親子を対象に講演会を積極的に進める。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 子どもの問題行動は、親の態度によって起こることが多々あります。町内の幼稚園、小学校が、子どもに対する親の関わり方、家庭教育のあり方についての講演を設定していることは適切です。
- ・ 学校開放の一環として取り入れられているところがいい。講演には、被害防止の内容のものもあっていいのではないか。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(3) 家庭教育活動の推進並びに支援体制づくり
事業内容	② 家庭教育力の向上

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 《 家庭教育の啓発 》

- 1 広報啓発冊子、啓発ポスターの配布 …子育てハンドブック「3歳児のいいところミッケ」、子育てハンドブック「今こそ家庭教育」、「さぬきの子育て10のすすめ」など
- 2 親同士の学びを取り入れたワークショップ 1回  
 家庭教育推進専門員（県教育委員会教育長が委託）を派遣して、保護者が相互に学び合うようなワークショップを実施するもの。宇多津町では6名登録されている。  
 ・香川短期大学附属幼稚園 2月24日
- 3 さぬき安心安全ネット指導員による学習会 2回  
 さぬきっ子安全安心ネット指導員（全2日間の講座を受講された方に県教育委員会教育長が委嘱）により学習会を運営していただくもの。宇多津町では4名登録されている。  
 ・宇多津小学校 6月30日  
 ・宇多津中学校 12月4日

### 目標達成に向けた今後の課題

- ・ 地域社会で人間関係が希薄になっている中、親子の育ちを支える機会が少なくなっているため、「親同士の学びを取り入れたワークショップ」を積極的に進める。
- ・ 家庭の日を設け、町全体の取組として家庭での食事や家庭学習の充実など、現在の課題とされている部分について考えるきっかけにしていく。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 家庭内の問題が社会問題化している昨今、親同士が学び合う機会を設定することは、時宜もワークショップ型の学習会も適切です。
- ・ 「子供会活動」とリンクさせて行うのもひとつの方法かと思う。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(4) 人権尊重の意識を養う人権・同和教育の推進
事業内容	① 研修機会の充実

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 1. 実施事業

##### ・ 8月24日（水）

8月の「同和問題啓発強調月間」に宇多津町人権・同和教育推進協議会総会及び研修会を開催し、本年度は「性の多様化」をテーマとして研修を行った。高松市を中心に活動を行っている団体であるPROUD認定講師の木村アンリ先生を招き、「なぜ今LGBTなのか？～性的少数者のお話～」と題して講演会を行った。（生涯学習課）

##### ・ 3月26日（月）

町職員への人権・同和教育研修会として実施。講師は、部落解放同盟香川県連合会坂出市連絡協議会議長である大藤正孝氏を招き、研修を行った。（総務課）

・平成29年3月に改訂した宇多津町人権教育・啓発に関する基本計画に則り、各課に人権に関する推進委員を置いた。そして、3月19日（月）には委員を中心として西庄文化センターへの現地研修を実施した。（住民生活課）

#### 2. その他

・香川県人権・同和教育研究協議会の開催する研修会、研究大会へ参加（5月9日、10月31日）

・坂出綾歌企業人権・同和教育推進協議会の開催する研修会へ参加（5月31日、2月21日）

・第64回四国地区人権教育研究大会（松山市）に参加（7月13日～14日）

・第69回全国人権・同和教育研究大会（松江市・出雲市）に参加（12月2日～3日）

他、各種研修会・研究大会へ参加

### 目標達成に向けた今後の課題

#### 1. 啓発対象者について

現在行っている研修会の参加者は教育委員、人権擁護委員、民生児童委員を中心とした各委員の他、企業からの参加者が主なものとなっている。一部の方のみが対象となっているため広く参加者を募る方針。

#### 2. 研修の題材について

研修題材は、住民意識調査の結果に基づいて選定している。内容は毎年異なるものを選定するように心がけている。今後も関心が高いと思われるテーマに基づいて題材を選定する方針。

### 【学識経験者の意見】

・差別の広い裾野を一つずつ取り上げる手法は重点的で理解度も高くなっています。町教委がLGBTを取り上げたのは適切です。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(4) 人権尊重の意識を養う人権・同和教育の推進
事業内容	② 広報・啓発活動の充実

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### ○ 人権作品展

##### 1. 内容

宇多津町立の保育所・幼稚園・小学校・中学校においては人権尊重の教育を推進しており、その学習成果の一端を展示し、人権尊重への認識を深めるとともに、住民への人権尊重の啓発を行う。

##### 2. 出品者

宇多津町立保育所・幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒

##### 3. 出品物

ポスター、標語、習字、作文、詩、その他軸に貼れるもの

##### 4. 人権展

- 人権作品展・・・期間：9月15日(金)～10月1日(月)

会場：ユーブラザうたづ エントランスホール

広報・周知：広報8月号において、記事を掲載。

- 「私の考えを語る会」人権展・・・各園・学校より2作品ずつ展示

日時：11月16日 会場：坂出市民ホール

#### ○ 人権・同和教育だより

##### 1. 内容

坂出市、綾川町、宇多津町で、地域で人権尊重の認識を深めるためにパンフレットを作成する。

##### 2. 作成物

「人権・同和教育だより」を8700部作成し、12月広報にあわせて町内全戸に配布する。

#### ○ 町広報誌に人権・同和教育の啓発記事を掲載(住民生活課)

4月：部落差別解消推進法 5月～3月：町人権教育・啓発基本計画

上記に加え、12月の人権・同和教育啓発強調週間に合わせ、LGBT特集記事を掲載

### 目標達成に向けた今後の課題

#### 『人権展』について

スペースがあれば、人権作品だけでなく町の人権・同和教育についての取り組み内容を掲示することにより、人権尊重の啓発に活用できるのではないかと。

#### 『人権・同和教育だより』について

新しい課題やテーマ(新しく成立した法律等)についての関連記事を掲載する。記事については、イラストを入れたり、文章を簡略化したりする等、読み手に分かりやすくする必要がある。

#### 【学識経験者の意見】

- ・ 差別・人権問題について広報誌、パンフレット、児童・生徒の作品展示等、さまざまな手法により適切に啓発されています。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(5) 宇多津を誇りに思う心を育成する教育の推進
事業内容	① 地域の伝統文化を学習する機会の充実 ～成人式～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 日時 平成30年1月7日（日） 13:30～14:00
2. 場所 ユープラザうたづ
3. 参加人数 男性70名、女性63名 計133名（案内送付数は男性105名、女性125名、計230名）
4. 内容 町長式辞、来賓祝辞、成人者代表の誓いのことば、恩師の先生方からのメッセージ動画
5. 費用 582,880円（記念写真代283,500円、記念品代136,620円、会場使用料103,390円など）
6. 成人式実行委員会

8月18日をはじめとして、計4回打合せを行った。

#### ○担当者役割分担

- ・司会（式典等の司会）
- ・誓いの言葉（謝辞）
- ・受付（封筒に資料を入れる、受付・配布、来賓に花をつける）
- ・広報原稿（2月号広報の原稿）
- ・アトラクション（準備・片付け・操作）
- ・パンフレット表紙（表紙のデザイン）

#### ○アトラクション内容

#### ○記念品内容

※参考：第1回は3名、第2回は3名、第3回は6名、第4回は10名の新成人が集まり、打ち合わせを実施した。

### 目標達成に向けた今後の課題

1. 参加率の上昇  
本年度の参加率は58%であり、前年対比1%の増加であった。
2. アトラクションの選定  
式典終了後に祭典を行い、恩師の先生方のメッセージ動画を上映。作成は新成人で行った。事務局として、新成人の満足する祭典となるように新成人主導のもと支援していきたい。
3. 運営  
この式典を新成人として自立するための一つの節目とし、町の出身者として郷土愛を育むため、より自主的な運営を開催したい。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 人生の節目としての成人式が自主的に企画・運営され、参加者の満足感を高める、意義のある式典となっています。
- ・ 成人式の出席率が低下していること（特に女子）には、どんな背景があるのか。気がかりな部分ではある。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(5) 宇多津を誇りに思う心を育成する教育の推進
事業内容	① 地域の伝統文化を学習する機会の充実 ～宇多津検定～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 日時 平成29年12月21日(水)
2. 場所 宇多津中学校各教室
3. 対象者 宇多津中学校1, 2年生 319名(1年生158名、2年生161名 前年対比22名減)
4. 合格者 59名(1級:2名、2級:12名、3級:45名) 合格率18.5% 前回合格者84名  
平均点51.71点(1年生:54.35点、2年生:55.58点) 前回57.39点
5. 出題範囲 まちのあゆみ  
農業、漁業、塩業  
観光関連、おひなさん  
歴史、文化  
宇多津町出身者
6. 結果 試験範囲:ちょうどよい57%、もっと狭くするべき37%  
問題数:ちょうどよい64%、多い30%  
難易度:難しい50%(前回は47%)、普通46%

### 目標達成に向けた今後の課題

- 1 実施の時期  
本来の目的においては全生徒の受験が望ましいが、3年生は高校入試の直前となるため、受験対象外としている。
- 2 出題範囲について  
予習帳を活用することで、特定の分野において知識を得ることができ、合格者の増加に繋がっている。検定本全体では範囲が広いため、出題範囲を限定して周知している。準備には朝読書の時間(15分)を1週間程度使用し、熱心に勉強する子は本を持ち帰り、家庭でも学習している。
- 3 目的の再確認と情報の更新  
地元の歴史・文化を知ることは、郷土を愛するために必要である。しかし、他市町がご当地検定を取りやめていく中、現在の検定本の見直しや、対象者を小学生まで拡大すること(小学校用検定本の作成も含めて)の検討、インターネットでの検定実施を導入することなど、本町においても総合的な面から検討していく必要がある。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 宇多津検定は、郷土を知り、郷土を愛する心を育てる、特色あるふるさと学習です。自分が住む町に誇りを持つことは大切です。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(6) その他
事業内容	① 子どもを守るネットワークの充実 ～いじめ防止等対策委員会～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 宇多津町いじめ防止条例に基づき、いじめ防止対策等委員会を開催

平成29年度宇多津小学校の児童にいじめ防止のポスターの作成を依頼しその中から選考。

標語は、「みんな笑顔で いじめゼロ」を継続して使用。

#### 1. 宇多津町いじめ防止等対策委員会の開催 平成29年9月1日

(1) 委員の構成 委員4名

(2) 内容

- ①小中学校のいじめ防止の取り組みと現状について
- ②ポスターの選定について

#### 2. 平成29年度のいじめの発生状況

宇多津小学校 1件 3年

宇多津北小学校 6件 3年1件、4年1件、6年4件

宇多津中学校 23件 1年17件、2年6件

### 目標達成に向けた今後の課題

平成29年10月「いじめ防止基本方針」を改正し、学校全体でいじめ防止に取り組んでいるが平成29年度は件数が増加した。今後は、次の点について特に留意していきたい。

1. いじめはどの子どもにも起こり得るということを踏まえ、未然防止の徹底を図る。
2. 普段の学校生活や生活アンケートなどで、いじめの兆候となるものを見逃さず、早期の発見、早期解決を図る。また、アンケートのとり方についても、子どもが正直に書きやすいように常に見直しをしていく必要がある。
3. 不登校気味になっている児童生徒への対応、原因の把握。
4. 学校いじめ防止基本方針のホームページでの公開、各年度開始時の保護者への説明。

#### 【学識経験者の意見】

- ・ 小学校のいじめ発生件数が他の町と比較して最少になっているのは、防止対策の成果と考えられます。
- ・ 中学校の前年度より大幅増は、対策上の問題点を解明する必要がある。校内の対策委員会をしっかりと機能させて、具体的に対処して欲しい。
- ・ いじめが増加している現状で、その深刻度はどの程度でしょうか。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(6) その他
事業内容	① 子どもを守るネットワークの充実 ～サポートチーム連携協議会～

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 1. 宇多津町サポートチーム連絡協議会について

宇多津町立学校に通学する児童又は生徒の問題行動が発生した場合、学校、教育委員会及びその他関係機関が協力し、解決に向けた具体的な支援策の検討及び実施の適切な対応を図るためにネットワークシステム(連携協議会)を構成する。

### 2. 平成29年度「宇多津町サポートチーム連携協議会」の開催

(1)日時:平成29年6月20日(火) 15:30～

(2)場所:宇多津中学校体育館ミーティングルーム

(3)参加構成機関:坂出警察署生活安全課、宇多津交番、町少年育成センター、主任児童委員  
町保健福祉課相談支援センター、各小・中学校、スクールソーシャルワーカー  
町PTA連絡協議会、町サポート指導員、町教育委員会事務局 参加人数 17人

(4)内容(情報交換及び成果と課題)

- ・学校……中学校生徒指導現状報告、小学校生徒指導現状報告
- ・坂出警察署(宇多津交番)……坂出署管内の少年非行
- ・少年育成センター……宇多津町少年育成センター活動年間集計
- ・主任児童委員……かかわっている町内の子どもについて
- ・町PTA連絡協議会……最近の子どもの現状

## 目標達成に向けた今後の課題

○問題が大きくなってからでは手遅れなので、連絡を取り合い、連携して問題に対応する必要がある。

○ケースによって誰がかかわるのか、誰に協力いただくのかを十分協議して対応すること。

○子どもたち、保護者向けに、スマホの正しい使い方(ライン等)の講習会を開催してはどうか。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 情報交換が適切に行われています。情報交換後にどのように対処されたかが不明ですが、持ち帰った問題点について、誰がどのように関わるのか、できれば対策委員会を立ち上げて、組織として取り組むことが必要です。
- ・ 協議会で情報を交換したら、その情報をどう活用してどのように対処するか、具体的なところまで意見を出し合っておくことが大切。
- ・ 一気に深刻な状態になりやすいので、予防が第一です。問題が起きたら共有しつつ早期解決を。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(6) その他
事業内容	① 子どもを守るネットワークの充実 ～ 宇多津町虐待防止対策ネットワーク協議会 ～

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

宇多津町虐待防止対策ネットワーク協議会

平成30年5月24日 13:30～

### 1. 児童部会

(1) 児童相談種別件数 (H29) 153件 (H28) 136件

養護		障害	非行	育成		その他		計
児童虐待	その他	発達障害	ぐ犯触法	性格行動	不登校	特定妊婦	その他	153件

(2) 虐待への対応 62件 (H28) 50件

### (3) 要保護児童対策協議会

①実務者会：月1回定例開催し、要保護児童、特定妊婦、DVなどの個別事例について、関係機関多職種に参加で、支援状況などについて情報交換し、課題の共有、役割分担等を行う。

②進行管理会：年2回、上期と下期に分けて、実務者会で検討している事例について、主担当機関で援助方針のかくにんや見直しを行う。

③個別ケース検討会 H29 17回 (H28) 22回

児童虐待など要保護児童及び家庭への支援過程において、情報の共有、課題の整理、支援の方向性の確認や変更など、協議が必要と判断された場合、支援している関係機関が集まり、個別ケース会を開催する。

【主たる相談種別】身体的虐待 心理的虐待 ネグレクト 不登校その他の養護相談

### (4) その他の取り組み

①宇多津町教育連携協議会 夏季研修会 H29 8.4開催 137名

講演：「子ども・家庭とともに私たちが取り組めること」  
～福祉的視点で子どもの生活を理解することとは～

講師：香川県教育委員会 学校支援アドバイザー  
香川県スクールソーシャルワーカー協会 会長 藤澤 茜 氏

### ②児童虐待防止の普及啓発

#### 2. 講演会「子どもの生活に関する諸問題」

香川県子ども女性相談センター地域連携支援室 室長 藤原 誠 氏

【関係機関】西部子ども相談センター、中讃保健福祉事務所、教育委員会（学校・幼稚園・保育所）  
医療機関、障害者、相談支援事務所、民生委員、町健康増進課、町保健福祉課

## 目標達成に向けた今後の課題

### 1. 本業務について

保健福祉課の相談支援センターが中心となって、各機関・団体の連携によって、各家庭への支援の仕方やその子どもへの対応について検討するもので、教育委員会独自の事業ではないが、連携して情報交換、家庭訪問等を行なう

### 2. 今後の課題（保健福祉課から）

- ・毎年虐待件数が増えている。
- ・養護者の養育力が弱いために、子どものネグレクト状態、不登校、非行傾向となるケースが多い。長期的な支援を要する家庭が多いにもかかわらず、支援が入りにくく継続支援することが困難な家庭が多い。

## 【学識経験者の意見】

- ・相談件数の増加、個別ケースの検討会など、具体的な対策がなされています。
- ・ケース検討がしっかり続けられていることを高く評価します。
- ・子どもを地域全体で見守るという体制作りが必要です。

# 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	2 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
施策項目	(6) その他
事業内容	① 子どもを守るネットワークの充実 ～ 少年育成センター業務 ～

## 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

### 1 巡回指導活動

育成指導員数	補導回数(年間)	延べ人数(年間)	補導状況					
			道交法違反	中学生	男	32	女	4
64名	169回	571回	帰宅促し	小学生	男	117	女	57
				中学生	男	16	女	12
				高校生	男	3	女	1
				小学生	男	16	女	1
			注意・指導	中学生	男	3		
				高校生	男	7		
				一般	男	3		
				合計	男	197	女	75

### 2 相談活動 (年間18件)

時期	対象者	相談者	内容
4月	中学1年・女子	本人	友達関係
6月	中学1年・女子	母親	不登校
	中学1年・女子	母親	不登校
	中学1年・女子	学校職員	不登校
7月	中学3年・男子	母親	不登校
	中学2年・女子	母親	不登校
	中学2年・女子	母親	進路
	中学3年・女子	母親	兄弟関係・進路
9月	中学2年・男子	兄・学校職員	不登校・ひきこもり
	中学1年・男子	学校職員	ひきこもり
	中学1年・男子	兄・学校職員	ひきこもり・家庭生活の過ごし方
10月	中学2年・女子	母親	不登校気味
11月	中学1年・男子	学校職員	不登校気味
12月	中学1年・男子	父親	友達関係
	中学2年・女子	母親	学習
	中学1年・男子	学校職員	支援センター入級について
1月	中学1年・2年男子	学校職員	通級生徒指導について
	中学1年・男子	本人・母親・学校職員	支援センター施設見学について

### 3 環境浄化活動 白ポスト回収数 (年間)

本	ビデオ	DVD	合計
449	158	460	1067

### 4 広報・啓発活動

青少年健全育成活動における地域・関係機関との連携

### 5 教育支援センター活動

生徒学校復帰への支援

## 目標達成に向けた今後の課題

- ・ 地域全体の目で子どもたちを見守ろうとする意識を高める呼びかけ
- ・ 関係機関との連携を密にして青少年の問題行動の早期発見を目指すこと
- ・ 不登校に関する相談数の増加に伴う、教育支援センターの体制の充実

### 【学識経験者の意見】

- ・ H28年度より指導・相談件数が大幅に増加、小学生女子に対する帰宅促しの補導件数の大幅減、補導回数の延べ数増に見られるように、少年育成センターの機能が高まり、適切な対応ができています。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(1) 文化・芸術活動並びに伝統文化伝承活動の推進
事業内容	① 研修活動等の充実並びに地域の伝統文化の保存・継承活動の支援 ～ 平成相聞歌 ～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 1. 事業内容

- 香川短期大学との連携事業「若者が集う文化のまち宇多津実行委員会」を立ちあげ、事業を実施。
- 携帯電話やパソコンのメールで「平成相聞歌」を募集。募集期間は9/1～11/11
- 募集チラシは、町内公共施設、学校、県内報道機関、県内市町教育委員会、県関連機関、県外高校文芸部等に配布。
- 選考：（1次選考）応募作品の中から選考委員により50作品程度が選ばれる。  
（2次選考）一般の方のインターネットによる人気投票の結果を考慮し、選考委員により、最終選考を行う。  
最優秀作品1点、優秀作品3点、特別賞10点、四国新聞社賞・香川短期大学賞各5点
- 授賞式（2/11 セント・カテリーナ）  
8名（最優秀賞1名、優秀賞3名、特別賞1名、四国新聞社賞3名）が出席
- 交流会 授賞式後開催
- 除幕式 交流会後受賞作品を刻んだ石碑の除幕  
（第11回最優秀賞1基、第10回優秀賞3基）
- 10周年記念誌 発刊 うたづっ子俳句コンクール開催

#### 2. 事業実績

応募数： 平成29年度（第11回）7,926  
（平成27年度（第9回）4,811 平成28年度（第10回）6,531）

#### 3. 補助金 230万円/年

### 目標達成に向けた今後の課題

- ・歌碑めぐりのスタンプマップなどの周知方法を検討する。
- ・うたづっ子俳句コンクールを継続し、町内の保育所、幼稚園、小学校に依頼する。
- ・宇多津町民からの応募を増やすための工夫。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 特色ある文化振興策。応募件数も年を追って増加し、過去最高となっています。宇多津町が全国的な文化の発信地として定着した行事です。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(1) 文化・芸術活動並びに伝統文化伝承活動の推進
事業内容	① 研修活動等の充実並びに地域の伝統文化の保存・継承活動の支援 ～文化財保護～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 文化財保護委員会事業
  - (1) 保護委員会の開催について  
平成30年3月22日に開催
  - (2) 報告事項など
    - ・重要文化財「木造千手観音立像」の現状について
    - ・町指定有形文化財「聖通寺本堂」にかかる調査について
    - ・香川県文化財巡視員からの指摘事項について
    - ・大門地区「藤田稲荷大明神」について
2. 文化財保護協会事業
  - (1) 会員数について  
県・町会員 40名(39名)      町会員 14名(7名)      計54名(46名)  
(カッコ内は平成28年度実績値)
  - (2) 補助金について  
年間405,000円(内、細川頼之研究事業補助金 270,000円)
  - (3) 実施事業について
    - ・総会時に、「U t a z uの歴史あれこれ ～宇多津の例大祭の謎 始まりと意味～」と題して、会員が研究した内容について報告した。
    - ・宇多津町と法隆寺の関係について、小学6年生が修学旅行へ行く前に事前勉強会を実施。(平成29年度は宇多津北小学校にて実施)

### 目標達成に向けた今後の課題

1. 文化財保護委員会事業について  
指定等の申請がなかったため、状況の報告のみとなっている。委員より、保護すべき文化財については、指定とすることで適切な保護を行うよう助言いただく。
2. 文化財保護協会事業について  
会員有志により、積極的な学習会が開催されている。今年度においては、現会員・役員からの積極的な声かけにより、会員数が増加した。現状維持することが今後の課題である。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 中世に県内で最も繁栄した宇多津町は、文化財の宝庫。その理解と保護に適切に取り組まれています。
- ・ 小学6年生の、法隆寺とのかかわりを学ぶ機会は大変興味深い。
- ・ 会員制になっていることで、町民全体の共有財産とはなっていないのではないかと懸念される。開かれたものとして広めていくこともいいのではないかと。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(2) 地域住民ニーズに対応した生涯学習講座の充実
事業内容	① いつでも・どこでも学ぶことができる学習機会の提供 ～女性セミナー～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 目的
 

男女共同参画社会に対応した社会作りを目指し、女性の視点から講座を開設・実施する。
2. 年間活動及び参加者数
 

①料理教室「郷土料理 鯖の押し寿司」	参加者 30名
②和服一貫張り講座①	参加者 18名
③和服一貫張り講座②	参加者 17名
④ストレッチ・太極拳体験教室	参加者 19名
⑤もみじ茶会	参加者 87名
⑥県外研修（京都・滋賀方面）	参加者 37名
⑦工場見学（株式会社讃匠、大和製作所）	参加者 31名
⑧和のマナー教室「料亭 寿美久満」	参加者 33名
⑨防災講話	参加者 25名
⑩清掃ボランティア活動	参加者 28名
3. 会員人数
 

80名（平成28年度 71名）
4. 延べ参加者数
 

325名（平成28年度 303名）

### 目標達成に向けた今後の課題

1. 企画について
 

講座参加者の声を元に、次年度の講座を企画している。このことから参加者のニーズに即した事業を実施できているものとする。今後も同様の方法で計画していく方針である。
2. 会員数・参加者数について
 

講座数は減少したものの、一講座当たりの参加者数が微増したことにより、会員数・参加者数ともに昨年度より増加している。今後も様々な体験活動・学習の機会を提供することで会員数・参加者数の増加を図る。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 男女共同参画社会実現の一環として、女性に参加と研修の機会が設定されたことに意義があります。
- ・ 内容面では、実益型、マナー習得型、体力づくり、社会奉仕と多彩で、希望と好みに応じて参加し、受講しやすいように配慮されています。
- ・ 会員数や参加人数が増加しているのは素晴らしい。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(2) 地域住民ニーズに対応した生涯学習講座の充実
事業内容	① いつでも・どこでも学ぶことができる学習機会の提供 ～宇多津大学～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

1. 目的
 

高齢者が健康で明るく生きがいのある生活が送れるよう、社会参加及び学習の機会を提供する。
2. 年間活動及び参加者数
  - ・講演会 「食中毒の予防・食品添加物」  
講師 香川県中讃保健所衛生課副主幹 山内邦博 氏 参加者67名
  - ・講演会 「高齢者の事故防止 ～交通事故とその責任～」  
講師 一般社団法人日本損害保険協会四国支部 斉藤 利幸 氏 参加者65名
  - ・講演会 「私たちの暮らしと独占禁止法の関わり ～うそつき表示と消費者保護～」  
講師 公正取引委員会事務局四国支所 総務係長 土居敬司 氏 参加者53名
  - ・運動教室 講師 健康運動指導士 森 明美 氏 参加者66名
  - ・町外研修（島根県方面） 参加者66名
  - ・コーラス 「なつかしい歌をうたって、元気に」  
講師 香川短期大学 渡邊理香氏、藪内利枝子氏 参加者70名
3. 会員数 125名（平成28年度 141名）
4. 行事参加者数 延べ390名（平成28年度 404名、平成27年度 462名）

### 目標達成に向けた今後の課題

1. 講座の企画について
 

香川県消費生活センターが行う「くらしのセミナー」を中心に計画している。講座一覧より、参加者に希望を伺うことで、関心の高いテーマで事業の実施ができているものとする。今後も参加者及び社会福祉協議会と連携し、事業の展開を図る方針
2. 会員数・参加者数について
 

会員数・参加者数ともに減少傾向にある。会員数・参加者数を増加させるべく、企画内容を見直すことで増加を図る。

### 【学識経験者の意見】

- ・ なつかしい歌唱、高齢者の健康・安全と危険予防、健康寿命を維持向上させるための運動教室など、高齢者に対する最も必要な講演、講座が組まれています。
- ・ いい感じで実施できていると思います。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(2) 地域住民ニーズに対応した生涯学習講座の充実
事業内容	② 住民が学んだ成果を住民のために活かす仕組みづくり 「知の循環」

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 1. 生涯学習講座

- (1) 講座内容・回数(日/時間)・受講者数 合計7講座 参加延人数:206名
- 足・腰・体幹を強くするスロートレーニング 5日(1.5h)37名
  - 仏像を知ろう 3日(1.5h)19名
  - 民謡講座～浜曳き唄～ 10日(2.0h)19名
  - 初めてのハワイアンダンス 10日(1.0h)25名
  - 紙バンドで小物やバッグを作ろう 6日(2.0h)10名
  - ジョギング教室 5日(1.5h)23名
  - ニュースポーツを体験しよう 4日(2.0h)
- ・スポーツ鬼ごっこ 22名 ・バスタボー 20名

#### (2) 募集方法・期間

4月広報に講座要項・応募用紙を挟みこみ。事務局窓口にて申込用紙を持参。

募集期間:4月3日～4月21日 3週間

#### 2. 香川短期大学との連携事業

カルチャー講座を開催 カルチャー講座委託料 40万円/年

- (1) 講座内容・回数(時間/会)・受講者数 合計15講座 参加延人数:697名
- 健康料理を食卓に 5日(3h)107名
  - 親子講座 読み聞かせと手作り絵本 4日(2.0h)35名
  - シニアと音楽好きのための 日本の歌を楽しもう 3日(1.5h)63名
  - 初心者・シニアのための パソコン講座 5日(1.5h)54名
  - 着物着付け教室 5日(1.5h)56名
  - 小学生夏休み 親子クラフト教室 1日(3.0h)54名
  - 小学生夏休みの宿題 読書感想文講座 3日(1.5h)59名
  - おしゃれにネイルチップ 3日(2h)18名
  - 知って得する介護のこと 3日(1.5h)34名 など

#### (2) 募集方法・期間

5月から香川短期大学HPに掲載、ユープラザ・町教育委員会にて募集チラシを随時設置し募集。

### 目標達成に向けた今後の課題

#### ○講座数・講座内容・講座回数の検討

講座内容によって受講者数にばらつきがある。受講生を対象としたアンケート調査等を参考に、公民館運営審議会において、ニーズに合った講座内容の検討を十分に行う。

#### ○出席率を高める工夫

欠席が続いている受講生には講師と相談しながら欠席を減らす手立てを講じる。

#### ○受講後の受講生への支援

講座終了後は受講生が学んだことを活用できる自発的なサークル活動の結成支援を行う。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 町民の嗜好に応じた多彩な講座が組まれており、興味や希望によって自由に参加し、学べるように配慮されています。受け入れ限度いっぱい参加者が多いことも、講座の魅力と充実を示しています。
- ・ 講座の参加延べ人数の多さはすばらしい。受講者数のばらつきはある程度は仕方ない。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業内容	① 指導者養成並びに活動支援体制づくり ～大松杯バレーボール大会～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

#### 1. 開催目的

第48回国民体育大会を機に、宇多津町名誉町民である故大松博文氏のバレーボール競技における偉業を称えるとともに、バレーボール競技の振興・発展、また、町民と他県の方々との交流を図ることを目的として開催。

#### 2. 開催日時 会場

歓迎セレモニー・開会式 平成29年10月7日(土) 16:00～ 宇多津中学校体育館  
試合 10月8日(日) 8:30～ 宇多津中学校体育館

#### 3. 参加チーム

10チーム (中国・四国各県のママさんバレーボール連盟から推薦されたチーム。全国ママさんバレーボール大会各県予選第1位チーム及び宇多津チーム)

#### 4. 大会運営協力者

323人  
県ママさんバレーボール連盟審判委員10人、  
体協・スポーツ団体部員85人、役場職員20人、婦人会10人、  
商工会女性部16人、  
宇多津中学校教諭7人・生徒86人(開会式・閉会式のプラカード係、  
開会式演奏、放送係、飲み物の販売、試合の点示係)  
宇多津北小学校教諭6人・生徒67人(歓迎セレモニーにおける演奏・演技)  
坂出商業高等学校女子バレーボール部顧問教諭1人、部員15人(線審)

#### 5. 大会運営費

町補助金 2,700,000円  
(公財)OHKスポーツ振興財団香川 170,000円

### 目標達成に向けた今後の課題

#### ○運営内容の検討

- ・ 協力員の負担を軽減するため、線審は出場チームに依頼する。あわせて坂出商業高校・宇多津中学校バレー部の協力も依頼する。
- ・ 多くの住民に観戦してもらうための工夫

#### 【学識経験者の意見】

- ・ 宇多津町の伝統行事として定着。大会運営に最大限配慮して行事を成功させています。
- ・ 大松氏の偉業を町民の誇りとして持ち続け、風化させまいとする熱意が大会を四半世紀も継続させています。
- ・ 今後は参加チームを少し増やしてもいいのでは？
- ・ 宇多津中学校のバレー部の協力が得られるというのはよいことです。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業内容	① 指導者養成並びに活動支援体制づくり ～激励制度～

平成29年度実施内容																																									
目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。																																									
1. 趣旨	町におけるスポーツ及び文化芸能の振興を図るため、大会に参加する個人または、団体に激励金を交付する。																																								
2. 要綱の改正	従来は奨励金としてスポーツ部門にのみ交付していたが、生涯学習課においては文化・芸能部門での活動も、生涯学習や社会教育の一環として住民に対し奨励していることから、文化・芸能部門の該当者にも同等な支援をするようにした。その際奨励金を激励金に改め、さらに個人及び団体への激励金年間限度額を明確にした。平成24年度4月より実施。 平成27年度には、旅費の補助として交付しているという考え方により、義務教育課程への加算金は取り消した。																																								
3. 交付人数	<table border="0"> <tr> <td>平成23年度実績:スポーツ部門</td> <td>205人</td> <td>総額</td> <td>1,333,000円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度実績:スポーツ部門</td> <td>95人</td> <td>文化芸術部門</td> <td>0人</td> <td>総額</td> <td>634,000円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度実績:スポーツ部門</td> <td>165人</td> <td>文化芸術部門</td> <td>4人</td> <td>総額</td> <td>1,007,000円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度実績:スポーツ部門</td> <td>218人</td> <td>文化芸術部門</td> <td>0人</td> <td>総額</td> <td>1,278,000円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度実績:スポーツ部門</td> <td>142人</td> <td>文化芸術部門</td> <td>0人</td> <td>総額</td> <td>550,000円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度実績:スポーツ部門</td> <td>201人</td> <td>文化芸術部門</td> <td>0人</td> <td>総額</td> <td>769,000円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度実績:スポーツ部門</td> <td>109人</td> <td>文化芸術部門</td> <td>3人</td> <td>総額</td> <td>676,000円</td> </tr> </table>	平成23年度実績:スポーツ部門	205人	総額	1,333,000円	平成24年度実績:スポーツ部門	95人	文化芸術部門	0人	総額	634,000円	平成25年度実績:スポーツ部門	165人	文化芸術部門	4人	総額	1,007,000円	平成26年度実績:スポーツ部門	218人	文化芸術部門	0人	総額	1,278,000円	平成27年度実績:スポーツ部門	142人	文化芸術部門	0人	総額	550,000円	平成28年度実績:スポーツ部門	201人	文化芸術部門	0人	総額	769,000円	平成29年度実績:スポーツ部門	109人	文化芸術部門	3人	総額	676,000円
平成23年度実績:スポーツ部門	205人	総額	1,333,000円																																						
平成24年度実績:スポーツ部門	95人	文化芸術部門	0人	総額	634,000円																																				
平成25年度実績:スポーツ部門	165人	文化芸術部門	4人	総額	1,007,000円																																				
平成26年度実績:スポーツ部門	218人	文化芸術部門	0人	総額	1,278,000円																																				
平成27年度実績:スポーツ部門	142人	文化芸術部門	0人	総額	550,000円																																				
平成28年度実績:スポーツ部門	201人	文化芸術部門	0人	総額	769,000円																																				
平成29年度実績:スポーツ部門	109人	文化芸術部門	3人	総額	676,000円																																				
4. 交付件数	<p>平成23年度実績:36件</p> <p>平成24年度実績:33件</p> <p>平成25年度実績:42件</p> <p>平成26年度実績:43件</p> <p>平成27年度実績:37件</p> <p>平成28年度実績:50件</p> <p>平成29年度実績:51件</p>																																								

### 目標達成に向けた今後の課題

#### ○周知方法

・大会に出場する児童・生徒の保護者には学校から制度を周知。町HP・町広報誌に掲載。

#### ○祝い垂れ幕の件数について

全国大会に出場する個人・団体は祝い垂れ幕を作成しているが、作成件数が多くなる場合は補正予算等の予算対策を講じていかなければならない。

#### 【学識経験者の意見】

- ・宇多津町の文化とスポーツの振興に大きく寄与しています。大会に参加しやすくする配慮とレベル向上への期待感があり、支援も適切。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業内容	② スポーツ・レクリエーション活動を気軽に楽しむ場の充実 ～スポーツの推進～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

町民の健康増進、体力の向上を目的に、スポーツ・レクリエーション事業を企画し開催する。開催後も、教室等で学んだ運動を自主的に継続して行うことができるようになることが目標。事業については、町スポーツ推進委員（15名 男10名、女5名）が中心となって指導をする。

#### ○指導・協力事業について

町：●健康ウォーク 5/14 開催 広島県帝釈峡 参加者数51名

●青の山ハイキング 8/11 祝日山の日記念イベント 丸亀市と共同開催 参加者数50名  
・準備体操、コース案内、休憩コーナーの運営

●「ニュースポーツを体験しよう」&町民体力テスト 9/9, 23 町民体育館  
・9/9 スポーツ鬼ごっこ 参加者20名 講師によるルール説明・実技指導・試合  
・9/23 バスタボー 参加者20名 ルール説明・実技指導・試合  
町民体力テスト 参加者20名 スポーツ推進委員6名が指導

県：●スポーツ推進委員研修会（5/12）に参加し、障がいスポーツ等の実技指導を受ける

中・四国：●中・四国スポーツ推進委員研修会（1/20.21）に参加し、情報交換、実技指導を受ける。  
藍川委員が四国会長賞を受賞。

### 目標達成に向けた今後の課題

- ・ 毎年開催しているニュースポーツについて、本町に定着した競技に絞り、参加者数を増加する工夫が必要。
- ・ 推進委員の高齢化による世代交代が必要となってきている。

### 【学識経験者の意見】

- ・ 町民が興味と希望に応じて気軽に参加できるスポーツ行事が多く組まれていて、スポーツの振興と参加者の体力向上に役立っています。
- ・ 高齢化は、他の事業にも共通の課題です。

## 平成29年度宇多津町教育方針の施策目標の点検・評価調査表

施策目標	3 活力ある地域コミュニティの育成
施策項目	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業内容	② スポーツ・レクリエーション活動を気軽に楽しむ場の充実 ～ 子どもロードレース ～

### 平成29年度実施内容

目標値から見た実績値や進捗度が分かるものがあれば、それも記述・図示してください。

平成27年度から開催日を1月の第二土曜日に変更。申込方法も事前申込のみとした。参加申込みは過去最高（214人）で、宇多津町の児童も全参加者数の半数近くとなる96人の申し込みがあり、申込方法を変更した成果が見られた。

《 第66回宇多津子どもロードレース大会 》

日 時 平成30年1月13日（土）午前8時30分～

会 場 宇多津小学校グラウンド

参加人数 男 117人 女 87人 合計 204人

運営協力者 体協スポーツ団体部員30人、役場職員7人、青年会2人

運 営 費 町補助金 294,500円

### 目標達成に向けた今後の課題

○運営内容の検討

- ・体協陸上部への協力体制を充実していく。
- ・多くの児童に参加してもらうための工夫を検討していく。

### 【学識経験者の意見】

- ・宇多津町主催の子どもロードレース大会が半世紀に余る伝統行事となって継続されたこと、子ども達の持久力の向上に役立っていることで、意義のある大会となっています。
- ・地元宇多津の子ども達も半分近くが参加しており、すばらしい取り組みといえる。